環境・食品・産業衛生学第6回「化学物質の管理」 (2018年5月28日) 解答例

1. 医薬品の所持や使用を規制する法律は何か?

## 医薬品 • 医療機器法 (旧薬事法)

2. 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)が制定された目的は、PCB汚染問題を受けて新規開発物質の安全性を事前審査することである。主な審査の視点は4つあるが、ヒトへの毒性、生物への蓄積性、生態毒性ともう1つは何か?

## 環境中での分解性

3. 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)の柱となる 2 つの制度のうち、1つは PRTR 制度(有害性のある多様な化学物質がどのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、どのように廃棄されたかのデータを把握、集計、公表する仕組み)だが、もう1つは何か。アルファベット4文字の略称と概要を述べよ。

## **MSDS**

事業者が対象化学物質を含有する製品を他の事業者に譲渡又は提供する際には、その化学物質の性状及び取扱い(とくに安全性)に関する情報を、化学物質安全データシート (MSDS)として事前に提供することを義務づける制度

4. ダイオキシン類の濃度はTEQを付けて表示される。TEQの考え方について簡潔に説明せよ。

ダイオキシン類の毒性は物質ごとに異なるので、最も毒性が強い2,3,7,8-TCDDを1とした際の各異性体の毒性を毒性等価係数(TEF)で表し、異性体別に分別定量したダイオキシン類の濃度にTEFを掛けて合計した値である毒性等量(TEQ)で毒性を示すことになっている。

\* 自然界には存在しない化学物質を合成・利用していく上で、今後の国際社会は何に配慮すべきか?

## (正解はありません)